

大学・短大進学前に知っておきたい

15のギモン

この本を手にしたキミは、進学についてそろそろ真剣に考えだしたころだろう。
入試のことはもちろん、受験や進学に必要なお金のことも気になるはずだ。
ここではそんな「知りたいけれど、今さらだれにも聞けない」という
15のギモンにお答えしよう。

PART

1

学校選びの ギモン

Q01 ▶ 将来「学びたい!」ことが決まらない場合は?

Q02 ▶ 「学びたい!」ことが見えてきたら、次は?

Q03 ▶ 大学情報の集め方と活用法は?

PART

2

入学試験の ギモン

Q04 ▶ 入試にはどんな種類があるの?

Q05 ▶ 総合型選抜の特徴やポイントは?

Q06 ▶ 学校推薦型選抜の特徴やポイントは?

Q07 ▶ 大学入学共通テストの特徴やポイントは?

Q08 ▶ 一般選抜の特徴やポイントは?

Q09 ▶ 民間の英語資格・検定試験は必要?

PART

3

進学マネーの ギモン

Q10 ▶ 受験のときに必要な費用は?

Q11 ▶ 入学手続きで気をつけることは?

Q12 ▶ 大学入学から卒業までにかかる学費は?

Q13 ▶ ひとり暮らしの1か月の生活費は?

Q14 ▶ 進学したいけれど、経済的負担が大きすぎるときは?

Q15 ▶ 国の奨学金にはどんな種類があるの?

PART

1

学校選び の ギモン

たくさんの資料から自分に合う学校を絞り込もう！

Q

01

将来「学びたい！」ことが
決まらない場合は？

A

4つのステップで自分を見つめ直そう

まだ具体的に「学びたい！」ことが見つからないという人は、4つのステップで自分を振り返ってみよう。

この4つのステップを踏めば「学びたい！」ことが見えてくるはずだ。

1 興味 自分の好きなこと、興味のあることをまず考えてみよう

2 好奇心 好きなことが浮かんだら、次にそれを調べてみよう
調べること（好奇心）で興味がもっと明らかになるだろう

3 適性 興味が、自分の性格や資質（適性）に合っているかどうか考えてみよう

4 能力 自分の興味が、学力や得意分野・特技などと
一致するかどうか確認してみよう

A

「学びたい!」学問を学べる学部・学科を調べよう

大学・短期大学で学べる学問の種類は数限りなく多い。では、いったいどうやってその中からキミの「学びたい!」学問を見つけたらいいのだろうか。

実は大学・短期大学で学べる学問は、その内容からいくつかのグループに分けることができる。この本では次のように12系統75学科関係に分類して解説している。

まずは、この中からキミの「学びたい!」ことに関係がありそうな学問をピックアップしてみよう。

大学・短期大学で学べる学問

12系統	75学科関係
 文化・語学・人間	01.日本文学 02.外国文学 03.語学・言語学 04.史学・地理学・文化財学 05.哲学・宗教学・美学 06.心理学・行動科学 07.人間科学 08.文化学・教養学 09.コミュニケーション学・図書館学・他
 法・政・ビジネス	10.法学 11.政治学 12.経済学 13.商学・会計学 14.経営学 15.経営情報学 16.観光学・他
 現代社会	17.社会学・マスコム学 18.社会福祉学 19.情報学・メディア学 20.政策学 21.環境学・危機管理学・キャリア学・他
 国際	22.国際関係学 23.国際文化学
 サイエンス(理学)	24.数学・情報科学 25.物理学 26.化学 27.生物学・生命科学 28.地学・地球科学 29.環境科学・総合科学・総合科学
 ハイテク(工学)	30.機械工学・ロボティクス 31.電気・電子・通信工学 32.情報工学・情報科学 33.土木・建築・環境工学 34.応用物理学 35.応用化学・物質工学 36.生物(生命)工学 37.エネルギー工学・資源工学 38.材料工学 39.船舶・海洋・航海工学 40.航空・宇宙工学 41.経営・管理工学 42.画像・光工学/医用・福祉工学 43.システム工学・デザイン工学・他
 食料・バイオ(農学)	44.農学・園芸学 45.農芸化学・食品化学 46.農業工学・環境学・造園学 47.農業経済学 48.森林科学 49.獣医学・動物看護学 50.畜産学 51.水産学 52.総合農学・他
 生命・医療	53.医学 54.歯学 55.薬学 56.看護学 57.臨床検査学 58.診療放射線学 59.リハビリテーション学 60.歯科衛生学(口腔保健)・歯科技工学 61.東洋医学・臨床工学・医療栄養学・医療経営学
 生活	62.家政学・生活科学 63.食物学・栄養学 64.被服学・ファッション学 65.住居学 66.児童(こども)学・生活デザイン学・他
 教育	67.教育学 68.教員養成(保育学含む)
 芸術	69.美術 70.デザイン・工芸 71.音楽 72.映像・メディアアート 73.芸術学・芸術文化学・演劇学・他
 スポーツ・健康	74.体育学・スポーツ科学・スポーツビジネス 75.健康科学

Q
02

「学びたい!」ことが見えてきたら、次は?

キミが「学びたい!」学問を学べる学部・学科の見つけ方

- 1 上の表で、キミが気になる学問をピックアップ
- 2 本誌P.27の『学部・学科』から志望校をさがす12系統・75学科で、その学問が学べる大学・短期大学をピックアップ
- 3 大学・短期大学の情報ページで学べる内容をチェック
- 4 気になる大学の資料を入手して、学部・学科を詳しく調べる

A 一括請求で効率よく集め、
比較・検討して志望校を絞り込もう

現在、大学が発信する情報はインターネットで簡単に見ることはできる。しかし、じっくりと時間をかけて調べたり比べたりするには、やはり紙の資料のほうが適している。そこでおすすめなのは簡単にできる資料一括請求だ。スマートフォンでまとめて資料を手に入れよう。



スマートフォンで！

➡ 本誌P.1を見て請求を！

学校資料が届いたら、次のように活用して志望校を絞り込んでいこう。

資料全体に目を通す

自分が知りたいページを熟読、何度も読んで理解を深める

学校資料の熟読ポイント

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 教育方針や授業内容 | 5 年間行事やサークル活動 |
| 2 学校・学科の特徴や特色 | 6 取得可能資格の種類 |
| 3 校風や学校の規模 | 7 就職状況 |
| 4 施設・設備 | 8 学費や奨学金制度 |

疑問に思った部分や理解できなかった部分をチェック

各学校のオープンキャンパスやエイビ進学ナビの進学相談会に参加する

学校担当者に直接相談して疑問を解消

志望校が絞り込まれてくるはずだ！

入学試験 の ギモン

PART

2

2024年度
入学者向け
入試について

内容は2022年12月中旬現在の
情報に基づいています。今後、
変更が生じる場合もありますの
でご注意ください。

いろいろな入試方式を知れば合格への道のりも見えてくる！



さまざまな方式があるので
情報収集を早く始めることが大切

大学入試は多様化していて、まず大きな方式としては次の4つに分類できる。

総合型
選 抜

学校推薦型
選 抜

一般選抜

大学入学
共通テスト
利用選抜

また、特に私立大学の一般選抜には、試験日自由選択制や得意科目重視型などをはじめとする多種多様な方式がある。よって志望校の情報収集は少しでも早く始めて、自分に合った入試方式を選ぶことが合格へのカギとなる。



04

入試にはどんな種類があるの？



9月から出願が始まり、詳しい書類審査と ていねいな面接+大学独自の評価法で選抜

総合型選抜は「学校長の推薦がいない」「進学意識や特技・技能も評価してもらえる」など受験生側のメリットも大きい。大学側にとっては「個性豊かで、本学に対して強い進学意識を持った受験生を早い時期に選抜できる」といった利点がある。

志望校が総合型選抜を実施する場合は、早めに内容をチェックして準備を始めよう。また、不合格になった場合を考え、学校推薦型選抜や一般選抜の受験準備を進めておくことも必要だ。

● 総合型選抜の特徴

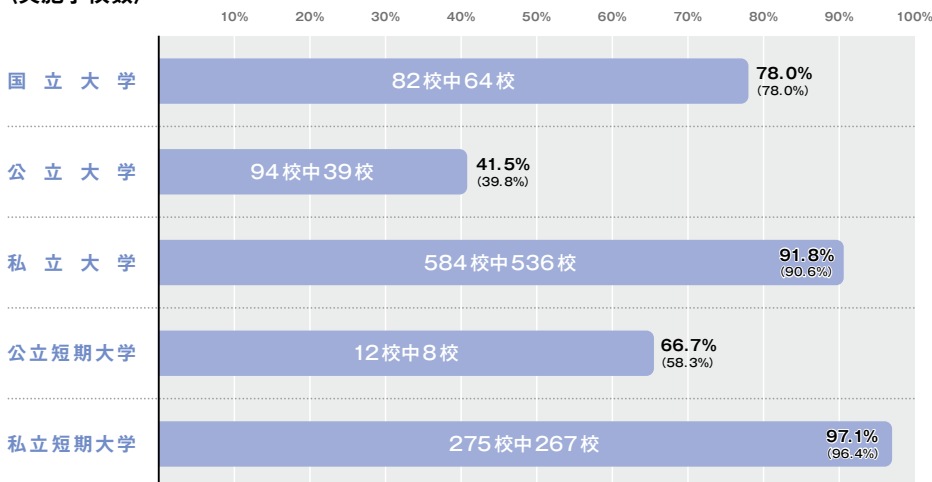
募集人員	国 大	総合型選抜+学校推薦型選抜 → 5割以下
	公 私 大	規定なし
	短 大	規定なし
出 願 資 格	基本的には出願自由 一部で現浪、成績、活動実績・取得資格などを指定	
日 程	出 願 9月以降 合格発表 11月以降	
選 抜 方 法	大学独自の評価方法 ^(注) または大学入学共通テスト、調査書、本人記載の資料を活用 (注) 大学独自の評価方法：小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、教科・科目に係るテスト、資格・検定試験の成績など	
入 学 前 教 育	特に12月以前に入学手続きをとった者に対しては「積極的に講ずる」こととして、高校では大学と連携して学習意欲を維持するために必要な指導が行われる	

● 総合型選抜実施状況（2023年度）

2021年度の入試改革の際、前年度まで推薦入試で自己推薦を実施していた大学では、その区分を総合型選抜へ移行させたケースが多く、その後も全体の実施率は上昇が続いている。特に私立大学・私立短期大学では総合型選抜の実施率は9割を超え、なかには複数の方式で実施したり、何期にも分けて実施したりするケースもある。

総合型選抜での入学者を見てみると、私立大学では全入学者の約14%、私立短期大学では約30%(2022文部科学省資料)を占めていて、この比率は今後さらに上昇するとみられる。

〈実施学校数〉



(注) 本誌調査による(カッコ内は前年度)。



推薦書記載の「学力の3要素」に関する評価を重視 充実した高校生活を送ることが重要

学校推薦型選抜は学校長の推薦書提出が必須。そこには学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）に関する評価を必ず記載しなければならない。もちろん大学側も選抜の際はこれらを活用しなければならない。調査書も重要になるので、高校生活を充実させておくことがポイントとなる。

なお、総合型選抜と同様、不合格になった場合も考え、一般選抜の受験準備も進めておきたい。

● 学校推薦型選抜の特徴

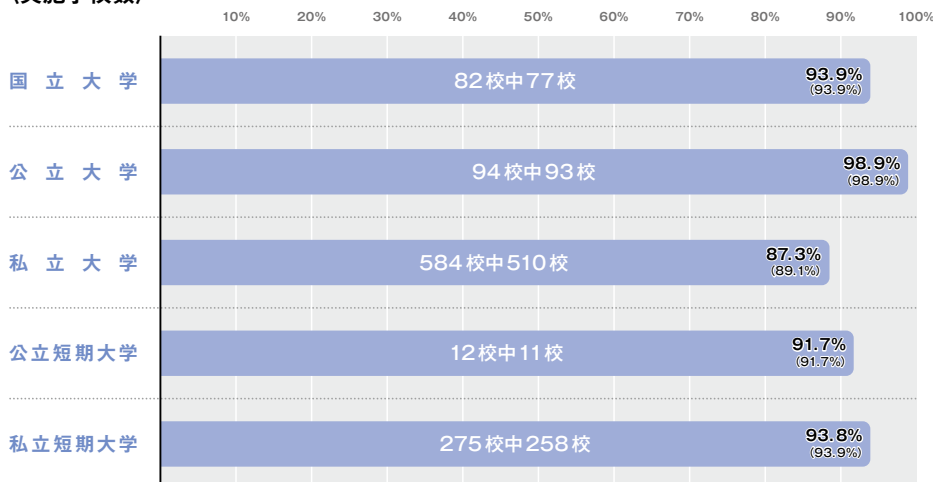
募集人員	国 大	総合型選抜＋学校推薦型選抜⇒5割以下
	公 私 大	5割以下
	短 大	規定なし
出 願 資 格	学校長の推薦書が必要 現浪、成績、特別活動・取得資格などの条件も	
日 程	出 願	11月以降
	合格発表	12月以降
選 抜 方 法	大学独自の評価方法 ^(注) または大学入学共通テスト、調査書、学校長の推薦書を活用 (注)大学独自の評価方法：小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、教科・科目に係るテスト、資格・検定試験の成績など	
入学前教育	高校の指導の下、入学予定者に対して大学入学までの学習計画を立てさせ、その取り組み状況等を高校を通じて大学に報告するなどが望ましい	

● 学校推薦型選抜実施状況（2023年度）

学校推薦型選抜を実施しない大学はごくわずかである。よって志望校の推薦定員や推薦条件、選抜方法などを調べてチャレンジできそうならば、早めの対応が重要になる。

学校推薦型選抜での入学者を見てみると、国立大学の実施率は高いが、入学者が占める割合はごく少ない。これは推薦定員が少ないケースが多いことが理由だ。逆に私立大学では総合型選抜の入学者と合わせると、全入学者の半数を超える。私立大学や短期大学では学校推薦型選抜は重要な役割を果たしている。

〈実施学校数〉



(注) 本誌調査による(カッコ内は前年度)。



06

学校推薦型選抜の特徴やポイントは？



マーク式問題で、基礎的な内容から 思考力・判断力・表現力を問う内容まで幅広く出題

大学入学共通テストは、高校段階における基礎的な学習の達成程度を判定し、大学教育を受けるために必要な能力について把握することを目的に実施される。よって、知識の理解の質を問う問題や、思考力、判断力、表現力を発揮して解くことが求められる問題を重視している。

●1月中旬の2日間で実施

共通テストの実施日程は1月13日以降の最初の土・日曜日で、2024年度は1月13日（土）・14日（日）に行われる。国公立大学の一般選抜ではこの共通テストを1次試験として利用。私立大学も「大学入学共通テスト利用選抜」などの入試名称で一般選抜のひとつの方式として利用する。

●出題教科・科目は6教科30科目

共通テストの出題はマーク式で、出題教科・科目は国語・地理歴史・公民・数学・理科・外国語の6教科30科目。受験生は、志望大学が指定する教科・科目を選択して受験することになる。国公立大学では多くの大学が5教科以上、私立大学の共通テスト利用選抜では2～3教科が一般的だ。

●理科の選択方法は注意が必要

理科については、受験する科目の選択方法を出願時に申請しなくてはならない。国公立大学の理系学部を志望するならDパターン、文系学部ならAまたはBパターンがほとんど。私立大学では理系は理科②、文系は理科①と考えておけばよいだろう。ただし、なかには例外の大学もあるので理科の選択方法は特に注意する必要がある。

パターン	選択方法	例
Aパターン	理科①から2科目	物理基礎＋化学基礎
Bパターン	理科②から1科目	物理
Cパターン	理科①から2科目及び理科②から1科目	物理基礎＋化学基礎・物理 ^(注)
Dパターン	理科②から2科目	物理・化学

(注) 大学によっては「物理基礎」と「物理」のように同一名称を含む科目での受験を認めていないケースがある。



08

一般選抜の特徴やポイントとは？

A

筆記試験に加え 調査書や本人記載の資料等を積極的に活用

一般選抜は、学力検査や小論文などの筆記試験に加え、調査書の内容や志願者本人の記載する資料等により、志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定する入試方法とされている。志願者本人が記載する資料のほかに、積極的に活用を促す内容は、エッセイ、面接、ディベート、集団討論、プレゼンテーション、各種大会や顕彰等の記録、総合的な学習の時間などにおける生徒の探究的な学習の成果等に関する資料やその面談等である。

● 国公立大学

大学入学共通テスト



出 願



2次試験



合格発表

2次試験

分離分割方式という同じ大学・学部が前期と後期に募集人員を振り分け、試験を2回行うシステムで実施。募集人員の配分は難関大学を中心に前期日程に比重を置く大学が多く、ここ数年、全国平均でほぼ前期8対後期2で安定している。

この両日程以外に一部の公立大学が導入している中期日程があり、3大学までの併願が可能。

● 私立大学

従来の3教科型選抜に加え、全学部統一選抜や大学入学共通テスト利用選抜の拡大など、ますます多様化・複雑化が進んでいる。

全学部統一選抜 全学部の試験日を一日に設定して実施する。

後 期 選 抜 2次募集、3月入試、B日程等、それまでに合格できなかった場合の再挑戦入試として利用される場合が多い。

地 方 選 抜 大学所在地以外で入試を行う。

試験日自由選択制 同一学部・学科の試験日を複数回設定し、受験生が都合のよい日を選択できる。

得意科目重視型 得意科目や高得点科目の得点に一定の倍率が掛けられる。



英語4技能を重視して、 入試に活用する大学が増加 志望校の出願資格ならば必ず取得を

グローバル化が急速に進展する中、英語によるコミュニケーション能力の向上が重要視され、高校の授業でも英語4技能（読む・聞く・話す・書く）の総合的な育成が行われている。そして大学入試でも、もちろんこの英語4技能を適切に評価することが必要となってきた。しかし、実際に各大学の入試で英語4技能を評価するのは実施上負担が大きいこともあり、4技能を総合的に評価している民間の英語資格・検定試験を活用する大学が増えてきた。

一般選抜での活用が急増

民間の英語資格・検定試験を大学入試で活用するケースは、当初、総合型選抜や学校推薦型選抜でその成績取得者を優遇するといったケースが多かった。しかし最近では「英語外部検定利用入試」などの入試名称で一般選抜の複数ある方式のひとつとして活用する大学が急増している。

大学の活用方法

大学・学部、または入試方式によって、採用している英語資格・検定試験は異なり、級・スコアももちろん違う。そして、その活用方法もさまざまなので、早めに志望校の情報を確認して準備を始めよう。

出願資格

大学が指定した民間の英語資格・検定試験の成績条件を満たしている場合のみ出願できる。

英語免除

大学が指定した民間の英語資格・検定試験の成績条件を満たしている場合、大学独自の英語試験を免除される。

みなし満点

大学が指定した民間の英語資格・検定試験の成績条件を満たしている場合、大学独自の英語試験の得点を満点とみなす。

点数加算

民間の英語資格・検定試験の成績を得点に換算し、大学独自の英語試験の得点に加算する。

進学マナー の ギモン

進学にはお金がかかる。サポートについて知っておこう！

A

入学検定料はもちろん、
遠方の大学を受験する場合は
交通費や宿泊費も必要

受験校を決めたら次は出願だが、その際に
必要になるのが入学検定料や振込手数料、
提出書類の郵送費などだ。必要な金額は
受験する校数にもよるので、早めに計画を
立てて準備を進めることが重要だ。

入学検定料

- ・ 1 学科受験
35,000 円
 - ・ 2 学科受験
35,000 円 × 2
- ~~70,000 円~~
= 45,000 円

選抜方式	入学検定料
大学入学共通テスト	3教科以上 18,000円 2教科以下 12,000円 成績通知希望の場合 プラス800円
国公立大<個別学力検査>	1校につき 17,000円(平均)
私立大<一般選抜>	1校につき 35,000円(平均)

同一大学の中で併願する場合は、入学検定料の割引制度も活用しよう。私立大学の一般選抜で、学部・学科を併願する場合や異なる選抜方式で併願する場合などでは、2学科目以上や2方式目以上の入学検定料を順次割り引くという内容だ。

また、遠方の大学を受験する場合は、交通費や宿泊費も必要になる。最近は「地方試験」を実施している大学も多く見られるので、志望校の情報を早めに入手してチャンスを逃さないようにしよう。



10

受験のときに必要な費用は？

Q

11

入学手続きで
気をつけることは？

A

学費納入と入学書類提出は 必ず期限を守ること

入学試験に合格すると、学費の納入と必要書類の提出を指定された期限内に済ませる必要がある。期限を過ぎると入学辞退と扱われるので注意しよう。

1年目の学費には入学金・授業料・施設設備費などが含まれ「初年度納入金」と呼ばれる。納入方法は「一括方式」と「2段階方式」があり、最近では1次手続きで入学金を納め、2次手続きで残額（前期授業料等）を納める後者が一般的だ。

もしも入学を辞退することになったら、基本的には入学金は返ってこない。学費納入済みの場合は指定期日までに入学辞退の手続きをすれば、一般的に入学金以外が返還される。2段階方式の場合は2次手続きをしなければ、入学辞退となる。

Q

12

大学入学から卒業までにかかる学費は？

A

国立大は243万円、私立文系は441万円、 私立理系は601万円

1年次の学費の内訳は「入学金」「授業料」「施設設備費」「実験実習費」「その他」で、この合計が「初年度納入金」となる。よって2年次以降は「入学金」以外を毎年納めることとなる。

国公立大学 入学金&授業料（昼間部/2021年度）

	入学金	授業料	計	備考
国立大学	282,000	535,800	817,800	国が示す標準額。
公立大学	391,305	536,363	927,668	平均額。入学金は地域外からの入学者の平均。

（注）単位：円。文部科学省資料による。

私立大学 初年度納入金の平均額（昼間部/2021年度）

	入学金	授業料	施設設備費	実験実習費	その他	計
文科系	225,651	815,069	148,272	8,319	75,126	1,272,437
理科系	251,029	1,136,074	179,159	61,004	62,758	1,690,024
医歯系	1,076,278	2,882,894	931,367	200,419	1,400,106	6,491,064
その他	254,836	969,074	235,702	78,917	93,619	1,632,148

（注）単位：円。定員1人当たりの平均額。文部科学省資料による。

私立短期大学 初年度納入金の平均額（昼間部/2021年度）

	入学金	授業料	施設設備費	実験実習費	その他	計
全平均	237,615	723,368	166,603	42,708	103,556	1,273,850

（注）単位：円。定員1人当たりの平均額。文部科学省資料による。



最も多い支出は住居費 1か月の生活費に12.5万円は必要

全国大学生生活協同組合連合会の調査（2021年）によれば、1か月の支出合計の平均生活費は、自宅生6.3万円、アパート・マンション等に住む下宿生12.5万円、寮生10.3万円で、自宅生と下宿生は前年より若干だが減少した。内訳でみると、自宅生と下宿生・寮生では大きな差がある。自宅生の支出で多いのは食費だがそれでも1.1万円以下。下宿生の最も多い支出は住居費で5万円以上と突出しており、住宅事情は厳しい状況にあるようだ。

● 1か月の生活費 / 居住形態別収入・支出の内訳（全国平均）

		自宅生	下宿生(アパート・マンションなど)	寮 生
収 入	仕送り	10,370	71,880	44,600
	奨学金	10,240	20,380	30,990
	アルバイト	39,860	29,130	25,710
	定職・その他	3,160	3,900	4,140
	合計	63,630	125,280	105,430

		自宅生	下宿生(アパート・マンションなど)	寮 生
支 出	食費	10,540	24,680	23,960
	住居費	590	53,920	29,970
	交通費	7,990	3,850	4,620
	教養娯楽費	11,940	11,760	10,820
	書籍費	1,680	1,700	1,970
	勉学費	1,570	1,900	1,530
	日常費	6,270	7,520	6,320
	電話代	1,470	3,110	2,210
	その他	2,070	2,310	2,740
	貯金・繰越	18,850	14,300	19,000
	合計	62,970	125,040	103,140

（注）単位：円。自宅生の仕送りは小遣い。2021年10月～11月調査。全国大学生協資料による。



13

ひとり暮らしの1か月の生活費は？



奨学金制度などの利用を検討しよう

大学進学には高額なお金が必要になる。特にここ数年は、経済的に厳しい家庭も増加している。大学に進学したいけれど、経済的理由で困難という場合は、下記に示した各制度を利用できるか確認してみよう。自分に合った制度を上手に活用できれば、進学もあきらめずに済むはずだ。

奨学金制度

能力や学習意欲がありながら、経済的理由で修学が困難な学生に対して、一定の金額を給付または貸与する制度。

❶ 日本学生支援機構の奨学金

国が運営している奨学金で、学生の「2.7人に1人^(注)」が利用している。

(注) 2019年度実績 / 日本学生支援機構調査による。

❷ 地方公共団体の奨学金

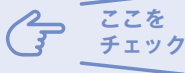
都道府県や市区町村が実施し、金額は多くないが貸与型で利息なしのケースが多い。

❸ 民間育英団体の奨学金

給付型が多いが、対象とする大学を指定するケースも多い。

❹ 大学独自の奨学金

大学によって金額も条件もさまざまなので、学校資料等で確認すること。



日本学生支援機構のサイトには「大学・地方公共団体等が行う奨学金制度」のコーナーがあり、「条件(都道府県や申込時期等)」や「大学名、団体名」から検索を行うことができる。まずは一度チェックしてみよう。

教育ローン

保護者が、国や銀行、信用金庫などから教育資金を借りる制度。

❶ 国の教育ローン

日本政策金融公庫が行う教育一般貸付のこと。

❷ 民間ローン

銀行や信用金庫、労働金庫などが行っている教育に関する費用に限定した融資のこと。



給付型、貸与型、利息の有無など、 いろいろな種類がある

ここでは国が運営する「日本学生支援機構の奨学金」について紹介しよう。次のような種類があり、それぞれ申請基準や条件が異なるため、希望する奨学金についてはしっかり調べて、早めの申請準備が必要になる。

日本学生支援機構の 奨学金	●給付奨学金（原則返還不要）	
	●貸与奨学金（返還が必要）	第一種奨学金（利息なし）
		第二種奨学金（利息付き）
		入学時特別増額貸与奨学金（利息付き）

●給付奨学金

意欲と能力のある生徒が経済的理由により進学および修学の継続を断念することがないよう、原則として返還義務のない奨学金を支給して進学等を支援する制度。進学前に採用候補者を決定するための申し込みを受け付ける。さらにこの給付奨学金の対象者は、大学等へ申請することにより、入学金・授業料の免除・減額も同時に受けることができる。

【学力基準・家計基準】

学力基準		申込時までの高校等の成績の平均が5段階評価で3.5以上 ^(注)
家計基準	収入基準	申込者（生徒）と生計維持者の市町村民税所得割が非課税であること、またはこれに準ずる世帯と認められること
	資産基準	申込者（生徒）と生計維持者（2人）の資産額の合計が2,000万円未満（生計維持者が1人のときは1,250万円未満）であること

(注) この学力基準に満たなくても、将来、社会で自立し、および活躍する目標をもって、進学しようとする大学等における学修意欲を有していれば申し込み可能。

【支給月額（大学・短大・専門学校）】（住民税非課税世帯〈第1区分〉の場合）

国公立		私立	
自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
29,200円 (33,300円)	66,700円	38,300円 (42,500円)	75,800円

(注) 生活保護世帯の人および児童養護施設等から通学する人はカッコ内の金額。



15

国の奨学金にはどんな種類があるの？

【入学・授業料の免除・減額の上限額（年額）】（住民税非課税世帯（第Ⅰ区分）の場合）

	国公立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学	約28万円	約54万円	約26万円	約70万円
短期大学	約17万円	約39万円	約25万円	約62万円
専門学校	約7万円	約17万円	約16万円	約59万円

● **貸与奨学金**

「第一種奨学金」と「第二種奨学金」の2種類があり、それぞれ採用基準がある。

【学力基準・家計基準・貸与月額】

第一種奨学金（利息なし）		第二種奨学金（利息付き）		
学力基準	申込時までの高校等の成績の平均が5段階評価で3.5以上 ^(注)		申込時までの高校等の成績が学校の平均水準以上	
家計基準の目安 (給与所得の4人世帯)	年間の収入金額が747万円以下		年間の収入金額が1,100万円以下	
貸与月額	区分	通学	大学	短大・専門学校
	国公立	自宅	2万円・3万円・4.5万円	
		自宅外	2万円・3万円・4万円・5.1万円	
	私立	自宅	2万円・3万円・4万円・5.4万円	2万円・3万円・4万円・5.3万円
		自宅外	2万円・3万円・4万円・5万円・6.4万円	2万円・3万円・4万円・5万円・6万円
	2万円～12万円（1万円単位） ※私立大学 医・歯学課程 12万円を選択した場合、4万円の増額可 ※私立大学 薬・獣医学課程 12万円を選択した場合、2万円の増額可			

（注）住民税（市町村民税所得割）非課税世帯・生活保護受給世帯の生徒または社会的養護を必要とする人（児童養護施設入所者等）には緩和された基準が適用される。

【申込時期】

予約採用	在学採用
高校3年生の4月以降に、在学する高校で申し込む 申込先は、在学する高校の先生 ^(注)	進学後に進学先の学校で申し込む 申込先は、進学先の学校の奨学金窓口

（注）予約採用は、進学先が未定でも申し込みができ、進学後の奨学金を予約できる。

【返還方法】

進学先を卒業して7か月目から口座引き落としにより返還が始まる。

第一種奨学金は次の①②からいずれかを選択、第二種奨学金は②の方式となる。

① **所得連動返還方式**

前年の所得に応じてその年の毎月の返還額が決まるため、無理なく返還を続けていける。

② **定額返還方式**

貸与総額によって返還期間が決まり（最長20年）、返還期間によって毎月の返還額が決まる。

【救済制度】

病気・災害・経済困難などで返還が難しくなったときは、次の救済制度がある。

① **減額返還制度**

一定期間毎月の返還額を1/2または1/3に減らすことができる。その分返還期間は長くなる（返還予定総額は変わらない）。

② **返還期限猶予制度**

一定期間毎月の返還を先送りすることができる。その分返還終了が遅くなる（返還予定総額は変わらない）。